

◆ 令和6年度 部長マニフェスト ◆ 地域包括ケア・健康づくり推進担当部長

| 部の概要                 |            |    |                                                                                     |
|----------------------|------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 所属課と人員<br>(R6.4.1現在) | (健康福祉部に含む) | 一人 |  |

**部の運営方針**

市民やまちのウェルビーイングのため、市民や関係機関と連携しながら、ソフト、ハードの両面からの社会資源としての創造を図り、健康を支えるシステムを共に創っていきます。また、市民が積極的に健康づくりに取り組むことを支援し、日常生活の中に無意識に健康づくりを取り入れられるよう図っていきます。

高齢者等が、住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、高齢者の支援、支援者の後方支援、地域づくりに取り組んでいきます。

災害時における医療救護活動において、より具体的かつ実効性を確保するため、関係機関と協議し訓練等を推進していきます。

令和6年度の重点項目

| No. | 項目                       | 具体的内容                                                                                                                                                                                                                                                     | 達成状況(年度末評価)                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 達成度 |
|-----|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1   | 健康まちづくりの推進               | 令和5年度に策定した「健康まちづくりプラン」に基づき、健康行動により地域通貨ポイントが得られる健康ポイント事業を実施します。また人と人とのつながりを意識したデジタルデバйд対策も行っています。<br>居心地のよいウェルビーイングなまちづくりを実効的に推進するため庁内横断的に協創する体制を構築していきます。<br>国立市健康まちづくりプランを市民及び事業者等にむけて周知普及していきます。<br>令和7年度の健康増進計画(第3次)策定およびがんアクションプラン更新にむけて市民調査等準備を進めます。 | 健康ポイント事業については、学識研究機関及び民間事業者2社の連携協定事業者に委託し実施しました。参加者は当初予定を上回り、目標を達成しました。アプリコースの他、デジタルデバйд対策として活動量計コースを設けて実施しました。<br>健康アンバサダー養成講座や食育・給食ステーションと民間事業者との共催事業、他課のイベント事業に対して健康ポイントを付与するなど、具体的事業を連携共有することで健康まちづくりを庁内外で推進しました。<br>健康増進計画策定にむけて、市民の健康に関する意識・実態調査を1～2月に実施しました。この調査報告をもとに令和7年度の計画策定つなげていきます。 | A   |
| 2   | 地域包括ケアのさらなる推進            | 認知症総合事業として、認知症初期集中チームや認知症の方の安心や活躍につながるチームオレンジの取り組みについて、関係機関と連携を図りながら展開していきます。<br>在宅医療・介護連携事業として、在宅療養推進連絡協議会および新たに再編した4つの部会で課題を検討し、推進していきます。<br>生活支援体制整備事業として、くにたち福祉サポーターが地域で活躍できる体制を整備し、様々な生活の支援、居場所づくりに関わり、市民の活動を発展させていきます。                              | 認知症総合事業としては、認知症があっても活躍できる場の紹介やチームオレンジミーティングを都度開催しました。<br>在宅医療・介護連携事業としては、在宅療養推進連絡協議会および4部会「多職種連携部会」「情報共有のありかた検討部会」「ACP・看取り部会」「災害・感染症部会」を開催し課題の検討を進めました。<br>生活支援体制整備事業としては、くにたち福祉サポーター養成講座を2回開催し34名受講、生活支援に特化した講座を1回開催し、市民活動を進めました。                                                               | B   |
| 3   | 予防接種(高齢者)に関する施策の推進       | 新型コロナウイルス感染症が定期接種となることや肺炎球菌ワクチンの接種対象者の変更、開始されて間もない带状疱疹ワクチン任意接種など各種予防接種についての体制整備を行い、市民へのわかりやすい周知を図っていきます。                                                                                                                                                  | 新型コロナウイルスワクチンについては、定期接種の開始が他のワクチンと重なりましたが、混乱なく遂行しました。<br>市民周知については、带状疱疹ワクチン任意接種、新型コロナウイルスワクチン定期接種など、各種予防接種について、市民へのわかりやすい周知に努めました。                                                                                                                                                               | A   |
| 4   | 災害時医療救護活動マニュアルに基づく訓練等の推進 | 令和5年3月に策定された「国立市災害時医療救護活動マニュアル」に基づき、国立市医師会、歯科医師会、薬剤師会と協議し、災害医療コーディネーターを含めた訓練を関係部署と連携を図り、実施していきます。                                                                                                                                                         | 国立市主催の訓練の実施には至りませんでしたが、東京都医師会等が主催する研修や頭上訓練に、防災安全課や庁内保健師連絡会が連携して参加しました。特に市の災害医療コーディネーター研修には、医師・歯科医師・薬剤師とともに参加し、災害医療活動拠点と救護所の活動についてや初動の備えなどの課題を整理しました。                                                                                                                                             | D   |
| 5   | 専門職(保健師)の人材育成            | 保健師の人材育成の指針となる「(仮)国立市保健師キャリアラダー」を東京都多摩立川保健所と合同で、庁内保健師連絡会で検討し作成していきます。                                                                                                                                                                                     | 職員課、東京都多摩立川保健所の協力を得ながら庁内保健師連絡会(3回開催)および作業部会(5回開催)で保健師キャリアラダーについて検討し、地域包括支援センター業務をモデルに追記し「国立市保健師キャリアラダー」を作成しました。                                                                                                                                                                                  | B   |

【達成度】 A…100% B…80%以上100%未満 C…50%以上80%未満 D25%以上50%未満 E25%未満